



このマニュアルについて

このマニュアルでは、Cisco IOS XR Software リリース 3.5 でのセッション ボーダー コントローラのコ
ンポーネントおよびインターフェイスの設定に関連する概念と作業について説明します。

では、次のトピックについて取り上げます。

- 「[マニュアルの変更履歴](#)」 (P.SBC-xxxii)
- 「[対象読者](#)」 (P.SBC-xxxiii)
- 「[マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)」 (P.SBC-xxxiiii)

マニュアルの変更履歴

[表 1](#) に、初版後、このマニュアルに加えられた技術的な変更の履歴を示します。

表 1 マニュアルの変更履歴

リビジョン	日付	変更点
OL-12289-02-J	2007年10月	<p>新しいモジュールが、次の機能をサポートするために追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンテキスト属性記述子のサポート • H.248 履歴イベント通知 • H.248 Segmentation パッケージ サポート • H.248 設定可能な T-Max • H.248 設定可能 VRF • H.248 ゲートウェイ プロファイルの設定 • 新しい H.248 Traffic Management (Tman) プロパティ：ピーク データ レートおよび遅延変動許容値。 • Ia プロファイルのサポート • IPv4/IPv6 音声クリッピング回避 • セキュア メディア サポート • RADIUS VPN サポート • 設定可能なベース ルート パッケージ • アドレス レポート パッケージ • MGC 情報パッケージのサポート • SIP 着信認証 • SIP-I 透過性およびプロファイル サポート • SIP 設定の柔軟性 • リソース管理と SIP の統合 • P-CSCF のサポート • IBCF 処理のサポート • H.323 プライバシー
OL-12289-01	2007年6月	Cisco IOS XR セッション ボーダー コントローラ コンフィギュレーション ガイドリリース 3.5.0 の初回リリース。

対象読者

このドキュメントの対象読者は次のとおりです。

- 経験豊富なサービス プロバイダーの管理者
- シスコの電気通信管理技術者
- Cisco IOS XR ソフトウェアのトレーニングを修了したサードパーティの現場サービス技術者
- Cisco IOS XR ソフトウェアを実行しているルータを毎日使用および管理するお客様

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

